



2024年5月15日

各位

会社名 富士紡ホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 井上 雅偉  
(コード:3104 東証プライム)  
問合せ先 取締役 佐々木 辰也  
(TEL 03-3665-7612)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

当社グループは“圧倒的なニッチナンバーワン企業”を目指し、その実現に向け、中期経営計画「増強 21-25」を2021年4月からスタートしております。

「増強 21-25」の最終年度では、当社の資本コストを意識して、売上高営業利益率 16.7%、ROE・ROIC10%以上を目標としております。

初年度の2022年3月期は売上高営業利益率 16.4%、ROE11.5%となりましたが、2年目以降、半導体市場低迷による急激な受注減少や原燃料価格高騰の影響を受け、前半3年終了時点の2024年3月期は売上高営業利益率 7.8%、ROE4.9%となりました。2025年3月期は、半導体市場の緩やかな回復基調により、収益面の回復並びにROE・ROICの改善を予想しております。

また当社のPBRについては、2024年3月末は1.15倍、それ以前の3年平均は1.02倍、5年平均は1.05倍であります。2024年3月期は、第3四半期決算発表後の株価上昇等もあり、2024年1月より1倍を上回る状況で推移しました。

#### 現状分析（連結）

項目	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期
売上高（百万円）	38,701	36,932	35,916	37,669	36,108
営業利益（百万円）	4,079	5,285	5,877	4,872	2,818
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	2,269	4,315	4,455	3,399	2,117
ROE（%）	6.8	12.1	11.5	8.2	4.9
ROIC（%）	7.4	10.1	10.6	7.6	4.0
PBR（倍）	0.98	1.29	1.01	0.89	1.15

## 2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2021年4月よりスタートしました中期経営計画「増強 21-25」の基本方針に基づいて収益力・資本収益性の向上を図り、2026年3月期（2025年度）にROE・ROIC10%以上並びにPBRの向上を目指してまいります。

### （1）中期経営計画「増強 21-25」の基本方針

事業ポートフォリオ改革として、「研磨材」・「化学工業品」・「化成品事業」における有望市場向けの更なる高付加価値化と、「衣料品」・「特化素材」・「汎用素材事業」における低採算領域の構造改革を進めて、各事業の『稼ぐ力』の増強を進めてまいります。

### （2）資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた具体的な取り組み

- ①中長期的な成長投資を推進
- ②経営の重要課題として引き続き株主還元を重視
- ③「富士紡のROIC経営」の実践
- ④情報開示の更なる強化

以 上